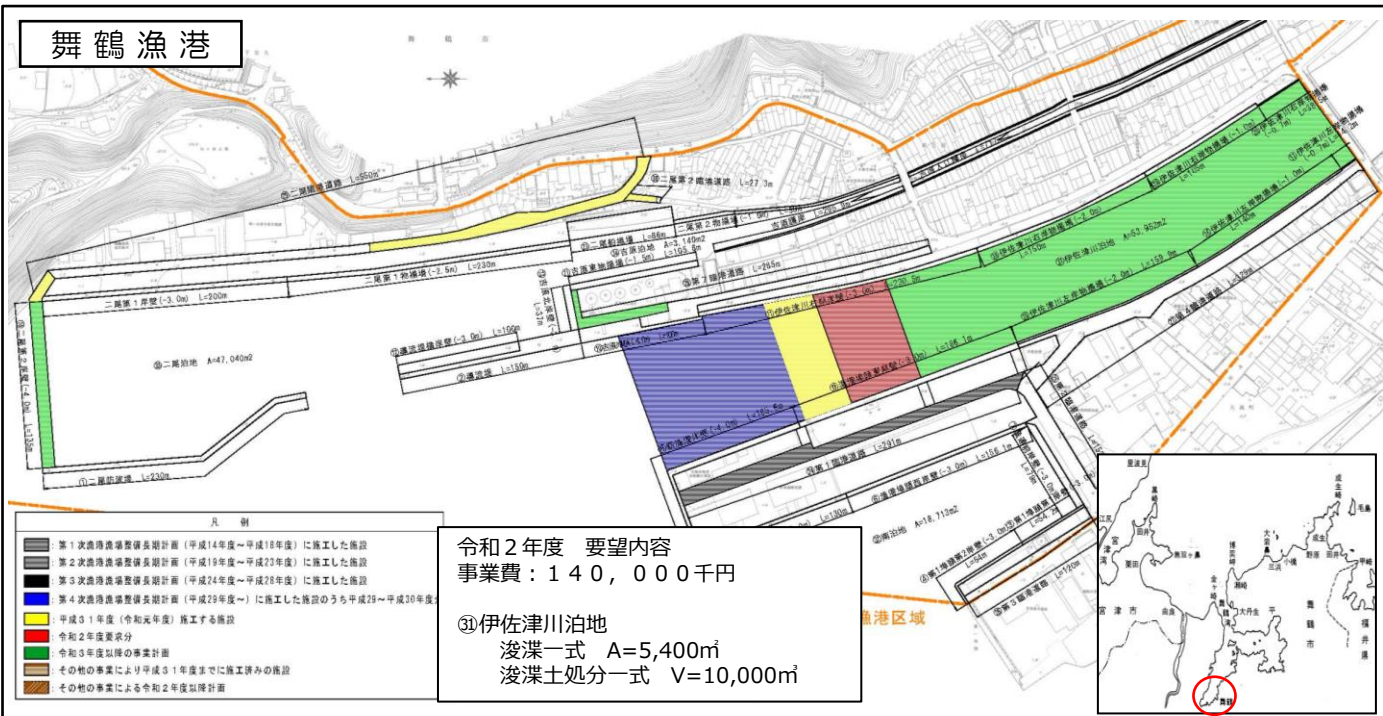


事業名	水産物供給基盤機能保全事業	事業概要	全体計画				
地区名	京都府地区(舞鶴漁港)		①総事業費 629,000千円 ②事業目的 漁港施設の機能保全工事 ③事業内容 機能保全計画策定 保全工事の実施 (新漁港岸壁、西岸壁、臨港道路、泊地) ④事業期間 平成24年度～令和4年度				
事業主体	京都府		元年度当初までの実績				
現況等	舞鶴漁港は天然の良港として古くから開けた漁港で京都府水産物の流通拠点港として整備されてきたが、整備後長期間を経過し施設の老朽化も目立ち始めている。		①総事業費 302,800千円 ②事業内容 機能保全計画策定 保全工事(臨港道路、泊地)				
事業効果	漁港施設の機能保全計画の策定を行い、機能保全工事を実施することにより、漁港施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化や縮減を図る。		2年度(補正含)計画				
コスト削減	施設の長寿命化により、更新コストの縮減が期待される。		負担割合 国:50%,府:30%,市町:20%,その他:0%				
環境・景観への配慮	低騒音機械の使用や再生骨材の利用を行うよう配慮した施工計画とする。	年度区分	年度	R元当初まで	令元補正	R2	R3以降
			事業費(千円)	302,800	-	140,000	186,200



舞鶴漁港全景



伊佐津川泊地